

# 名取処理区における災害廃棄物の処理について

Treatment of disaster waste at "Natori treatment area"

▶キーワード：災害廃棄物，破碎・選別，焼却処理，施設解体，環境対策

湊 康裕\*  
田中 壮\*  
永野心治\*  
武田修治\*

\*北日本（支）名取（出）

## 概要

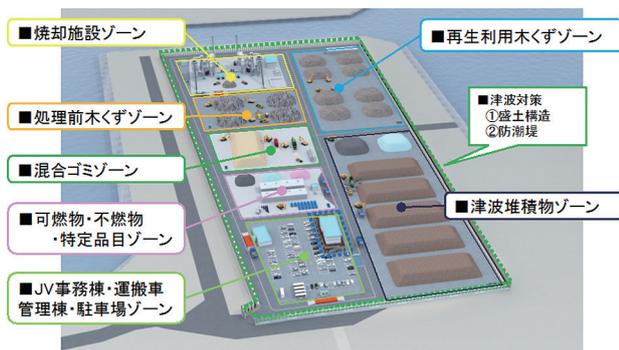
2011年3月11日の東日本大震災において発生した津波により、宮城県名取市の沿岸部は甚大な被害を受けた。宮城県発注の災害廃棄物処理業務を西松建設他共同企業が受託し、二次仮置場の造成、焼却施設建設、災害廃棄物549千トンと津波堆積物222千トンの処理を約2年半の間で行った。

用地が狭隘であったため災害廃棄物の搬入や処理を安全かつ効率的にできる施設配置とした。混合廃棄物は多量の土砂を含んでいたため、廃棄物の性状に応じた粗選別、分級、破碎選別の工程を選定した。焼却処理においては焼却物の発熱量向上の工夫をするとともに、分級土砂および焼却灰の有効利用を図った。焼却施設解体においては焼却施設解体トータルマネジメントシステムDiTsを適用し、適正な管理のもと解体工事を進めた。

本文では、災害廃棄物処理の各処理工程や施設解体、環境対策における工夫と留意点について紹介する。

## 成果

- 二次仮置場建設、大量の災害廃棄物・津波堆積物の処理、施設解体撤去の多様な業務を2014年3月までの約2年半の短い工期内で完了できた。
- 土砂混じりの混合廃棄物を効率的に分級・選別処理して、最終処分量を低減し、自区内処理98%、再生利用率94%を達成した。
- 焼却処理施設の改良工夫、焼却物の性状に応じた運転方法により、安定的な焼却処理を行った。
- DiTsを適用した、焼却施設の解体時の有害物質に対する対策・安全管理を行った。
- 各種の環境対策を講じた結果、周辺影響を保全しつつ、施設撤去まで完了できた。



図一 1 名取処理区の施設配置図



図一 3 混合廃棄物



図一 2 焼却処理施設（ストーカー方式）



図一 4 分級・選別処理状況